

ユーザーマニュアル

# CR950

**code**

REVOLUTIONIZING BARCODE READING

マニュアルバージョン 02  
リリース日: 2017年 10月

## 遵守表明

注: 本機器は試験済みであり、FCC規則パート15に従ってクラスB デジタルデバイスの制限に準拠していることが確認されています。これらの制限は住宅設備での有害な干渉に対する適切な保護を提供することを意図したものです。本機器では高周波エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、指示に従って設置や使用を行わない場合、無線通信に対して有害な干渉が発生する可能性があります。ただし、特定の設置環境で干渉が発生しないという保証はありません。本機器によって無線やテレビ受信に有害な干渉が発生する場合(機器のオンとオフの切り替えで確認可能)、以下いずれかの措置で干渉の是正を試みてください。

- ・ 受信アンテナの方向や位置を変更する
- ・ 機器と受信機の距離を長くする
- ・ 受信機を接続する回路とは別の回路上のコンセントに機器を接続する
- ・ ディーラーや経験豊富なラジオ/TV技術者の支援を求める

カナダ産業省 (IC)

本装置はカナダ産業省ライセンス免除 RSS 基準を遵守しています。以下の2つの条件に従って使用してください: (1) 本装置が干渉を発生させてはならない、(2) 本装置は装置の希望しない動作の原因となる可能性のある干渉を含めたあらゆる干渉を受け入れなければならない。

## Code Reader™950 ユーザーマニュアル

Copyright © 2016~17 Code Corporation.

All rights reserved.

本マニュアルに記述するソフトウェアはライセンス契約書の条件に従って使用してください。どのような形式、あるいは手段でもCode Corporation（以下、Code社）の書面による許可なしに本マニュアルのいかなる部分の複製を行わないでください。これにはコピーや情報記憶及び検索システム内での記録のような電子的もしくは機械的手段が含まれます。

**免責条項** 本技術文書は現状有姿で提供されます。さらに、本文書はCode社の誓約を意味するものではありません。Code社は本文書が正確、完全である、もしくは本文書にミスがないことを保証しません。本技術文書はユーザーの責任で使用してください。Code社は事前の通知なしに本文書に記載される仕様やその他の情報を変更する権利を留保します。読者はあらゆる場合においてCode社に相談して当該変更が行われたかどうかを判断してください。Code社は本マニュアルに含まれる技術的ミスや編集上のミス、あるいは脱漏に対して責任を負わず、本資料の提供、性能もしくは使用に起因する付随的もしくは結果的損害に対する責任を負いません。Code社は本文書で記述する何らかの製品の使用、もしくは用途に起因する、あるいは関連する製造物責任を負いません。

**非ライセンス** Code社の知的財産に関して黙示、禁反言の法則、もしくはその他の形で何らかのライセンスが許諾されることはありません。

Code社のハードウェア、ソフトウェア及び/もしくは技術の使用は独自の契約書によって統治されます。

以下はCode社の商標もしくは登録済み商標です:

CodeXML®, Maker, QuickMaker, CodeXML® Maker, CodeXML® MakerPro, CodeXML® Router, CodeXML® Client SDK, CodeXML® Filter, HyperPage, CodeTrack, GoCard, GoWeb, ShortCode, GoCode®, Code Router, QuickConnect Codes, Rule Runner®, Cortex®, CortexRM, CortexMobile, Code, Code Reader, CortexAG, CortexStudio, CortexTools, Affinit®, 及び CortexDecoder.

本マニュアルで言及するその他全ての製品名はそれぞれの企業の商標であることをここに承諾します。

Code社のソフトウェア及び/もしくは製品には特許取得済み、もしくは特許申請中の発明品含まれます。関連する特許情報は[codecorp.com/about/patent-marking](http://codecorp.com/about/patent-marking)で入手可能です。

Code ReaderソフトウェアはMozilla SpiderMonkey JavaScriptエンジンを使用しています。このエンジンはMozillaパブリックライセンスバージョン 1.1の条件に従って配布されています。Code Readerソフトウェアの一部はIndependent JPEG Groupの技術に基づいています。

Code Corporation, 434 West Ascension Way, Ste. 300, Murray, UT 84123  
codecorp.com

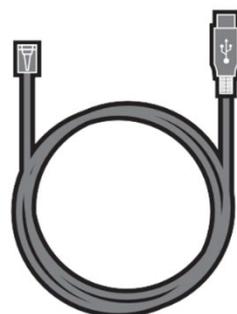
## 目次

1.0 - CR950リーダー梱包品 .....	5
2.0 - ケーブルの取り付けと取り外し .....	6
3.0 - セットアップ .....	6
4.0 - スタンドなしでの使用法 .....	7
5.0 - スタンドに取り付けての使用法 .....	7
6.0 - 読取範囲 .....	7
7.0 - リーダーフィードバック .....	8
8.0 - デフォルトでオンになっているシンボル .....	8
9.0 - デフォルトでオフになっているシンボル .....	8
10.0 - CR950の設定 .....	9
11.0 - リーダーIDとファームウェアバージョン .....	9
12.0 - 外形寸法 .....	10
13.0 - USBケーブルピンアサイン .....	10
14.0 - RS232ケーブルピンアサイン .....	11
15.0 - 本体ピンアサイン .....	11
16.0 - メンテナンス .....	12
17.0 - 保証 .....	13

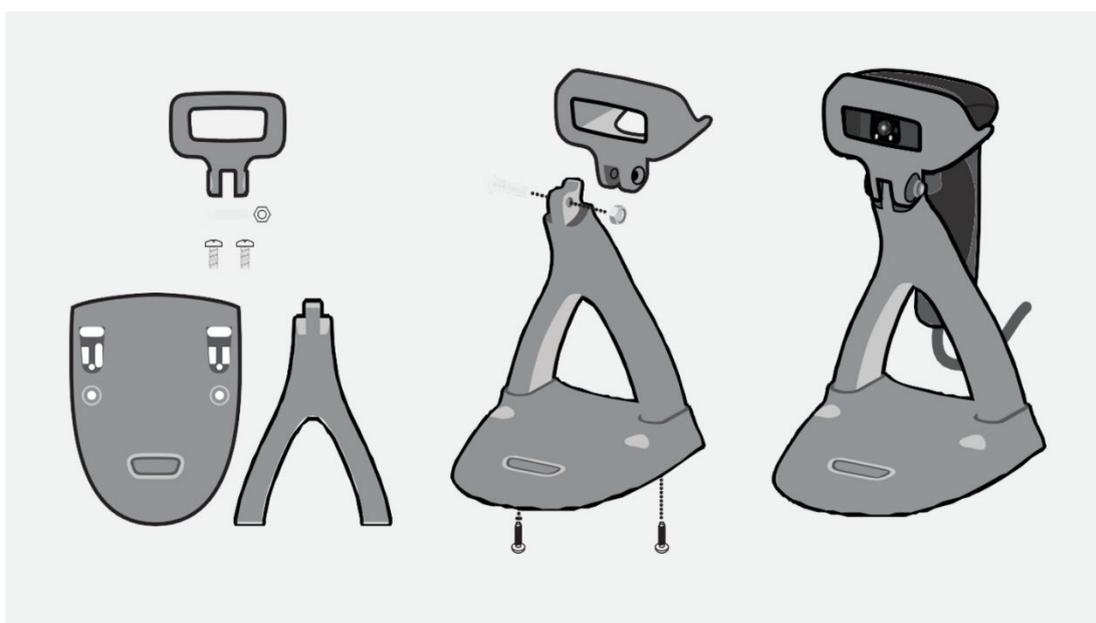
## 1.0 – 梱包品



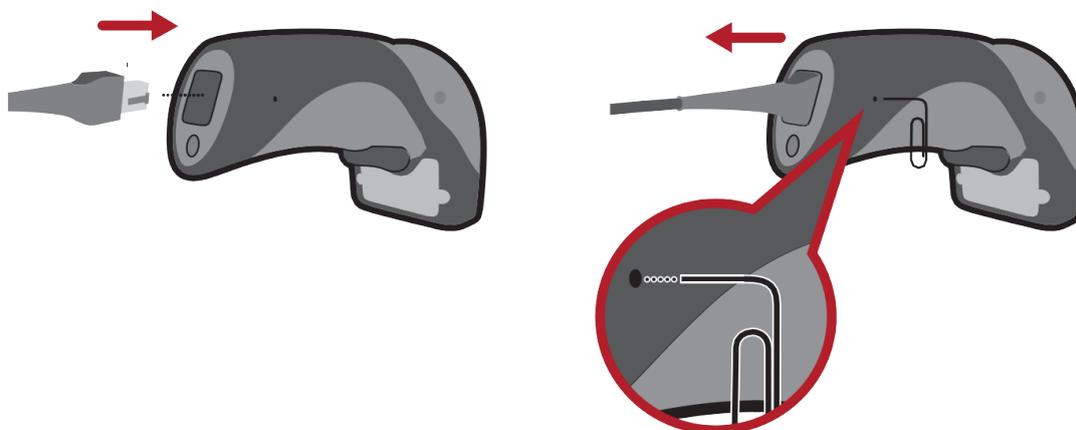
CR950



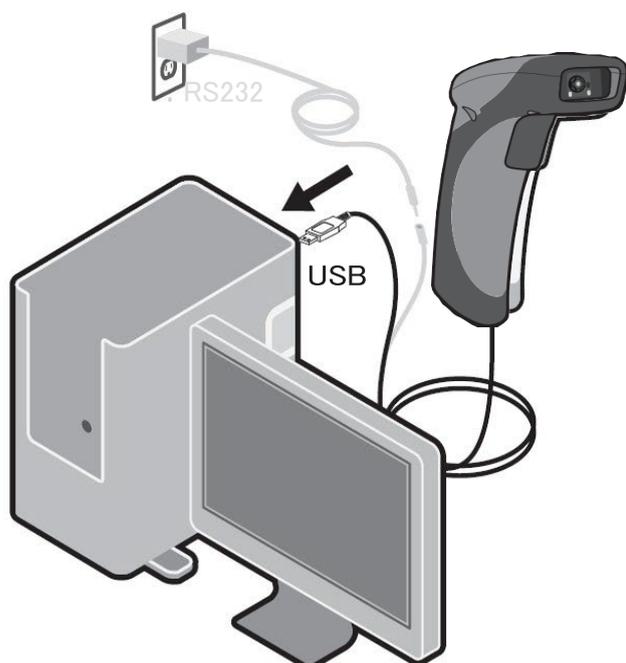
USB ケーブル



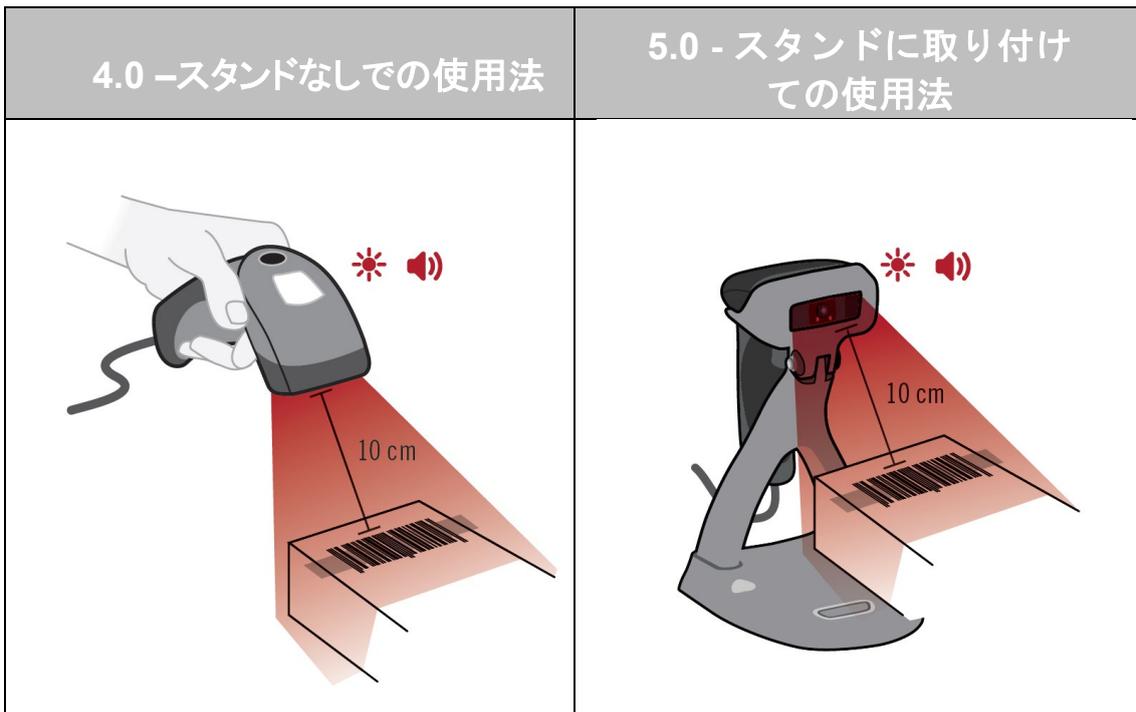
## 2.0 - ケーブルの取り付けと取り外し



## 3.0 - セットアップ



- ①  電源接続
- ②  1 秒待機  
1 Sec...
- ③  LED 点滅
- ④  ビープ音  
2x



6.0 - 読取範囲		
CR950		
試験バーコード	最小mm	最大mm
7.5 mil Code 39	50 mm	245 mm
10.5 mil GS1 DataBar	35 mm	225 mm
13 mil UPC	40 mm	370 mm
5.8mil PDF417	85 mm	155 mm
6.7mil PDF417	65 mm	175 mm
5 mil Data Matrix	75 mm	90 mm
6.3 mil Data Matrix	70 mm	135 mm
10 mil Data Matrix	50 mm	205 mm
20.8 mil Data Matrix	30 mm	400 mm

注: 動作範囲は広角と高密度レンジの両方の組み合わせによって決まります。全ての試験コードは高品質であり、物理的な中心線に沿って10°の角度で読み取りを行っています。通常のオフィス照明でのデフォルトの自動ゲイン制御設定が使用されています。精度は+/- 10%です。試験条件は動作範囲に影響を与える可能性があります。読取範囲は本体カメラの前面からの距離です。

## 7.0 - リーダーフィードバック

シナリオ	上部LED	ビープ音
起動に成功	緑色 LED 点滅	1 回
ホストで一覧に表示 (ケーブル経由)	一覧に表示されると、緑色 LED消灯	1 回
デコード中	緑色 LED 消灯	なし
デコードとデータ転送に成功	緑色 LED 点滅	1 回
設定コードのデコードと処理に成功	緑色 LED 点滅	2 回
設定コードの読み取りに成功したが処理に失敗	緑色 LED 点滅	4 回

\*通信ポート構成によって異なります

## 8.0 - デフォルトでオンになっている

### シンボル

以下のシンボルはデフォルトでオンに設定されていますので読み取ることが可能です。シンボルのオンとオフを切り替えるには、[codecorp.com](http://codecorp.com)の製品ページ上のCR950構成ガイド内のシンボルバーコードをスキャンしてください。

Aztec	GS1 DataBar
Codabar	Interleaved 2 of 5
Code 39	PDF417
Code 93	QR Code
Code 128	UPC/EAN/JAN
Data Matrix	

## 9.0 - デフォルトでオフになっている

### シンボル

以下のシンボルはデフォルトではオフになっている為、読み取るには設定の変更が必要です。シンボルのオンとオフを切り替えるには、[codecorp.com](http://codecorp.com)の製品ページ上のCR950構成ガイド内のシンボルバーコードをスキャンしてください。

BC412	Micro PDF417
Code 11	MSI Plessey
Code 32	NEC 2 of 5
Composite	Pharmacode
Codablock A	Plessey
Codablock F	Standard 2 of 5
Hong Kong 2 of 5	Telepen
IATA 2 of 5	Trioptic
Matrix 2 of 5	

## 10.0 – CR950の設定

CR950 は、<https://www.codecorp.com/products/code-reader-950> にある CR950の構成ガイドにあるコンフィギュレーション用バーコードをスキャンすることで、特定のタスクやデータ操作に構成できます。

## 11.0 – リーダー ID とファームウェアバージョン

リーダー ID またはファームウェア バージョンを確認するには、

1. <https://www.codecorp.com/products/code-reader-950> にある CR950 構成ガイドを表示します。
2. Reader/Modem Command Settingsセクションで「Get Reader Parameters」を見つけます。
3. テキスト エディタ プログラム (メモ帳、Microsoft Word など) を開きます。
4. 構成バーコードをスキャンします。

以下はファームウェアバージョンとリーダーパラメータ出力の例です。

例1) <RD><RR SN="0000000000" ID="96919606" HR="0x00" MD="CR950"  
MT="2A90" IS="20161123:0831" /></RD>

ここで、SNはシリアル番号、IDはリーダー識別子、HRはハードウェアリビジョン、MDはモデル番号、MTはモデルタイプ、ISはリーダー情報文字列です。

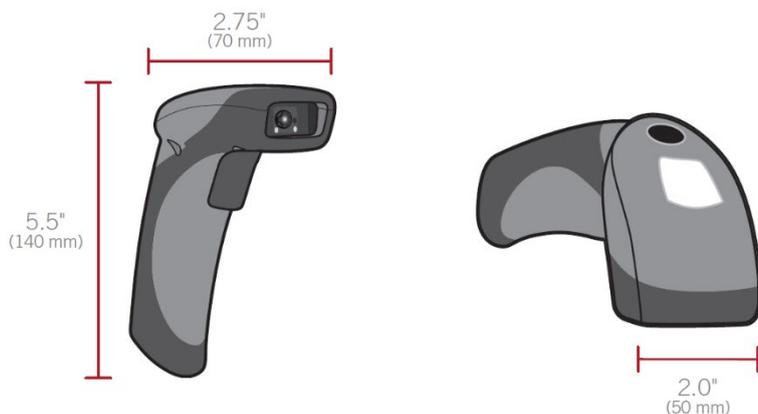
例2) <RD><FW MJ="1" MN="4" BU="1" OP="" VS="1.2.1" TY="C010718"  
DV="cd(16.1.6)" /></CP>

ここで、MJ はメジャー バージョン、MN はマイナー バージョン、BU はビルド番号、OP はオプション バージョン、VS はファームウェア バージョン、TY はファームウェア タイプ、DV はデコーダー バージョンです。

備考: Code社はCR950リーダー用の新しいファームウェアを定期的にリリースします。最新のファームウェア情報に関してはWebサイトの製品ページ

(<https://www.codecorp.com/products/code-reader-950>)をご参照ください。

## 12.0 -外形寸法

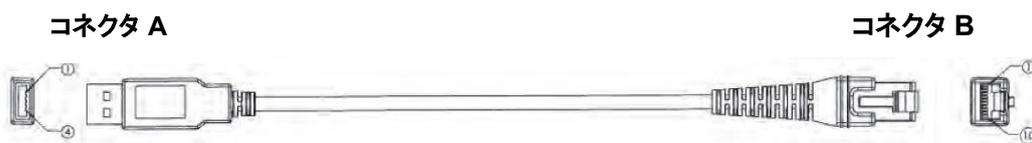


## 13.0 - USB ケーブルピンアサイン

備考:

1. ROHS及びReachに準拠
2. 定格電圧公差 5V +/- 10%.
3. 注意: 定格電圧を超過するとメーカー保証が無効になります。

コネクタ A	名称	ワイヤ	コネクタ B
1	VIN	26AWG	1
2	DM	24AWG	2
3	DP	24AWG	3
4	GND	26AWG	10
SHELL	-	SHIELD	NC

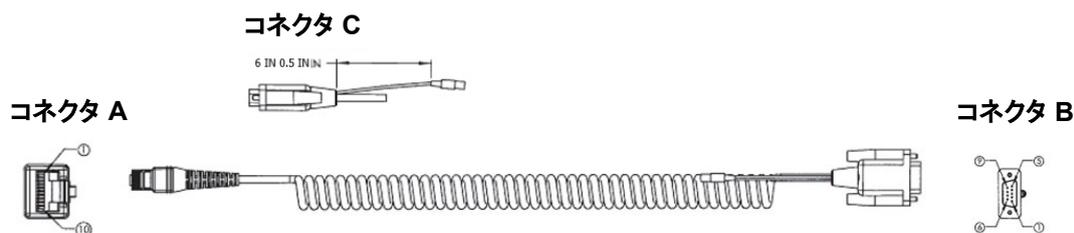


## 14.0 - RS232C ケーブルピンアサイン

備考:

1. ROHS及びReachに準拠
2. 定格電圧公差 5V +/- 10%.
3. 注意: 定格電圧を超過するとメーカー保証が無効になります。

コネクタ A	名称	ワイヤ	コネクタ B	ワイヤ	コネクタ C
1	VIN	24AWG	9	24AWG	TIP
4	TX	26AWG	2		
5	RTS	26AWG	8		
6	RX	26AWG	3		
7	CTS	26AWG	7		
10	GND	24AWG	5	24AWG	RING
NC	-	SHIELD	SHELL		



## 15.0 - 本体ピンアサイン

CR950上のコネクタはRJ-50(10P-10C)です。ピンアサインは以下の通りです。

Pin 1	+VIN (5v)
Pin 2	USB_DM
Pin 3	USB_DP
Pin 4	RS232 TX (output from reader)
Pin 5	RS232 RTS (output from reader)
Pin 6	RS232 RX (input to reader)
Pin 7	RS232 CTS (input to reader)
Pin 8	External Trigger (active low input to reader)
Pin 9	N/C
Pin 10	Ground

## 16.0 -メンテナンス

CR950デバイスは最小限のメンテナンスしか必要としません。以下ではメンテナンスに関するいくつかの提案を行っています。

### 読取り窓のクリーニング

デバイスの最適な性能を発揮するために読取り窓は清潔な状態を維持すべきです。読取り窓はリーダーヘッド部の内部にある透明なプラスチック片です。読取り窓には手を触れないでください。CR950 はデジタルカメラと同様のCMOS技術を使用します。読取り窓が汚れている場合、CR950でバーコードが読み取れなくなる可能性があります。読取り窓が汚れた場合、柔らかい非研磨布、もしくは水で湿らせたフェイシャルティッシュ（ローションや研磨剤は使用しない）で拭き取ってください。中性洗剤を使って読取り窓のクリーニングを行うことは可能ですが、洗剤使用後は水で湿らせた布、もしくはティッシュで読取り窓を拭いてください。

### 技術サポートと返品

返品、もしくは技術サポートに関しては [codecorp.com/support/rma-request](https://codecorp.com/support/rma-request) をご参照ください。

## 17.0 –保証

### 本保証について

Code社では通常使用時に[codecorp.com/support/warranty](http://codecorp.com/support/warranty)で明記する製品に適用される保証範囲条件に基づいて本体と機能の欠陥に対して各製品の保証を行います。ハードウェア欠陥が発生し、保証範囲期間中にCode社が有効な保証請求を受領する場合、Code社は以下いずれかの対応を行います: i) 新しい部品、もしくは性能と信頼性において新品に等しい部品を使用して無償でハードウェア欠陥を修理; ii) 当該Code社製品を新品、もしくは同等の機能と性能を持つ整備済み製品と交換。販売終了品の場合は新しいモデルの製品と交換することが含まれる; もしくは iii) Code社製品に組み込まれるソフトウェアを含むソフトウェア障害の場合、パッチ、アップデート、もしくはその他のワークアラウンドを提供する。全ての交換済み製品はCode社の財産となります。全ての保証請求は必ずCode社のRMAプロセスを用いて行ってください。

### 保証適応外の場合

本保証は以下の場合には適用されません: i) 引っかけ傷、へこみ、そしてプラスチックの破損を含めた外見上の損傷; ii) バッテリー、電源、ケーブル、ドッキングステーション/クレードルを含めたCode社以外の製品と組み合わせて使用したことにより生じる損害; iii) 異常な物理的もしくは電氣的ストレス、液体に浸す、Code社が承認していないクリーニング製品の使用、穴を開ける、押しつぶす、そして不正確な電圧や極性が原因で発生する損傷を含めた事故、乱用、誤用、洪水、火災、もしくはその他の外的原因に起因する損害; iv) Code社が承認する修理施設以外の人物が行った修理に起因する損害; v) 変更、もしくは改造されている製品; vi) Code社シリアル番号が削除されている、もしくは汚されている製品。保証請求に基づいてCode社製品が返品され、Code社が独自の裁量で保証による救済措置が適用されない、と判断する場合、Code社は顧客に連絡して以下いずれかの手配を行います: i) 製品の修理もしくは交換; もしくは ii) 製品を顧客に返品する。これらはいずれの場合も顧客の費用負担で行います。

### 保証外修理について

Code社は修理済み/交換製品の顧客への出荷日から90日間、修理/交換サービスを保証します。この保証は次のような修理や交換に適用されます: i) 上記の限定的保証から除外される損害; 及び ii) 上記の限定的保証が失効している(もしくは当該90日の保証期間内に失効する)Code社製品。修理済み製品の場合、本保証は当該部品に関連する修理と作業中に交換された部品のみが対象となります。

### 保証期間の延長について

修理もしくは交換済みの製品、もしくはソフトウェア、パッチ、アップデート、またはその他の修理を含む処置が提供された製品は元のCode社製品の残りの保証期間を引き継ぎ、元の保証期間が延長されることはありません。

### 特定の損害に対する免責

本マニュアルで明記するCode社の履行はCode社の唯一の責任であり、Code社製品の欠陥に起因する顧客の唯一の救済手段です。Code社が本マニュアルで明記する保証義務を履行していない、という請求は必ず主張する不履行発生から6カ月以内に行ってください。本マニュアルで明記する履行もしくは不履行に関するCode社の責任限度額は請求の対象となるCode社製品に対して顧客が支払った金額に限定されます。いかなる場合においてもいずれの当事者も逸失利益、逸失貯蓄、付随的損害、その他の経済的結果的損害の責任を負うことはありません。

適用法で別段明記がある場合を除いて、本マニュアルで明記する限定責任はあらゆる製品に関してCode社が行う唯一の保証です。Code社は黙示の商品性保証、特定目的適合性保証、他者の権利の不侵害保証を含めた明示、黙示、口頭、あるいは書面によるその他全ての保証を否定します。

本マニュアル内で明記する救済措置はCode社製品の欠陥に起因する顧客の唯一の救済措置であり、Code社の唯一の責任です。

Code社は行動の形式、そしてCode社がそのような損害の可能性について事前に通知されていた、あるいは予見することができたかどうかに関係なく逸失利益、データ損失、Code社製品を接続する何らかの機器（携帯電話、PDA、もしくはその他のコンピュータデバイスを含む）の損傷、もしくは何らかの特殊損害、付随的損害、結果的損害、あるいは懲罰的損害に対して顧客（もしくは顧客を通じて請求を行う何らかの個人や法人）に対して責任を負いません。